

病院長への手紙に対する回答(R4.11.7回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
9224	<p>病棟やHCUのスタッフの皆さんに大変お世話になった。 手術後、HCUで回復を待っていたところ、看護師さんが「お腹の痛みはありますか。」と声掛けしてくれた。術後の待ち場所や長時間にしぶれを切らして声を荒げてしまったが、忍耐強く対応してくれたことに感謝している。病室では、幻覚症状が強まり混乱する中、先生方をはじめスタッフの皆さんは、冷静沈着に優しさをもって接してくれた。 また、病棟から見る樹木の広がりや富士山の眺めは治療のうちと感じた。</p>	
9225	<p>妻が難病のがん(疑い)と説明を受けたが、適切な抗がん剤があればと思っている。 現在の医学をもって対処できない病気が相当数あると認識しているが、「唯命惜」の病院目標には感銘した。 がんで苦しむ人々を一人でも多く救ってくれることを祈念している。</p>	
9226	<p>①ウォシュレットの水の勢いが強いので、自分で水圧を調整できるようにしてほしい。 ②かかとの高い履き物は、履き物から足が滑って飛び出したとき体勢を崩し、怪我の元になりかねない。かかとの低い履き物が好ましいと思う。</p>	<p>①この度はご不便をおかけして申し訳ございません。水の勢いの強弱は便座脇の操作パネルから変更が可能です。操作についてお困りの際は、お近くのスタッフまでお声掛けくださいますようお願いいたします。 ②貴重なご意見をありがとうございます。患者さんには入院中、かかとのある滑りにくい履き物をご使用いただくよう、「入院のご案内」の冊子や案内表示板、お声掛けなどを通じて、転倒転落の予防についてご協力をお願いしております。引き続き、一層のご協力をいただけるよう努めてまいります。</p>
9227	<p>血液内科の医師は、診察でも入院中でも声が小さいので、大きな声で話してほしい。聞き取りにくい。</p>	<p>この度はご不便をお掛けし申し訳ありません。頂いたご意見は当該医師に伝えるとともに、患者さんに寄り添い、聞き取りやすい、分かりやすいお伝え方をするよう努めてまいります。</p>
9228	<p>CT検査時に、技師に身体をむやみに触られて、不快な気持ちになった。 6年間検査を受けてきたが、このようなことは初めてで、嫌な気持ちになり、今後、検査を受けるのが怖い。 女性技師を希望する。</p>	<p>この度は、ご不快なお気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。 適切な検査を実施するためには、正確なポジショニングが必要となります。そのため、お声掛けをした上で体に触って、体の位置を調整させていただく場合がありますが、ご不快な思いをさせないよう注意してまいります。 なお、今回のようなCT検査の検査担当技師については、男女関係なく配置しております。現時点では、必ず女性技師が担当する体制をとることは難しい状況ですので、ご理解くださるようお願いいたします。</p>